

第4回 明るい明日を築く集い

シンポジウム

少年犯罪にみる社会のひずみ

一時代の変化の中で希薄化する人間関係と変容する家庭像への提言一

昨今の憂うべき社会事象のひとつに、少年犯罪の特異性と内容の残虐さがあります。明日を担う子どもたちはいつの時代も社会の大切な財産であり希望です。

「キレル子どもたち」や「仲間とのコミュニケーションができない子どもたち」を生み出している背景には、希薄な親子関係や地域社会の無関心、IT機器の発達、TVやビデオおよびTVゲームなどで映し出される残虐な映像、深夜営業のゲームセンターやコンビニエンスストア、カラオケボックスの急激な増加、食習慣の変化など、子どもをとりまくいくつもの生活環境の変化が要因として考えられます。

これまで3回にわたり、少年犯罪の背景にある社会の変化を「社会のひずみ」としてとらえ直し、子どもたちが置かれている現状と課題を探ってきました。その中から見えてきたものは、時代の変化の中で希薄化する人間関係と変容する家庭像でした。そこで、第4回の本シンポジウムは犯罪心理学の第一人者をお迎えし、明らかになったこれらの「社会のひずみ」にどのように対処すれば現代社会の中で失われた人間性を復活させることができるのか、その糸口を探ることをねらいとして開催します。

■プログラム

基調講演	作田 明	聖学院大学客員教授 犯罪心理学
コーディネーター	高橋 和彦	都立高校教諭 農学博士
パネリスト	岡本 茂典	少年スポーツコーチ
	相馬茂二郎	人間性復活運動本部 世田谷支所支所長

2007年
7/8 日 14:00~16:30

フォーラム8 7階771会議室

東京都渋谷区道玄坂2-10-7新太宗ビル

主催 社団法人 人間性復活運動本部
世田谷・武蔵野・荏原・さいたま支所共催

後援 株式会社世論時報社

ホームページをご覧ください。http://www.ningensei.or.jp

定員：72名 先着順 参加費：300円

電話・FAX・Eメールでご応募下さい

申込み・問合せ先：人間性復活運動本部 担当 横川
tel 03-3460-9441 fax 3460-9466
E-mail:info@ningensei.or.jp

